

R-18

成人向け

ム

ゲ

ン

の

シ

ル

ヴ

イ







ただいま〜

あつ！ご主人様！
おかえりなさいませ！

このあと夕食に
なさいますか？
それとも…

♡♡

♡♡

♡

もじ

もじ



そうだな…
今日は

ががが

トキ

はた

はた

♡





ご主人様のが...
はあ...はあ...

はーん

ああ♡♡♡

...JNVAシ
ルワイ



挿入してもいいか？
自分が下で
シルワイよわ

はい♡
スルワイ

ビクッ

キチン♡
キチン♡



ご主人様あ...

ご主人様♡♡

あふ♡♡

シルワイの...

...JNVAシ
ルワイ



♡♡♡

♡♡♡



♡♡♡

スッ♡

あ♡♡



横になっへんた...
シルヴァイ...

おは...



んんんんん

気持ち...
いい...
いい...

ズ...
ズ...
ズ...



ご主人様...
早く続きを...

せ...
せ...
せ...

おは...
おは...
おは...



んんん



まご主人様あつ
中いっ...んだわ

はあ
はあ



んんん
...んんん



ふう...
もう限界だ...

んんん
...んんん



んんん
...んんん

お疲れでしたら
お風呂入りましょう！
↓
お風呂に入ると
お風呂に入ると



んんん
...んんん



先生

今日も遅くまで
お仕事ですか?

ごめんなシルヴィ



シルヴィイ!?

おはようございます…

あ

先生…



あ、おはよう…

じゃなくて…

ナニをやったんだ!?



わんわん...

あの

えっと...

最近...先生と...
ま...
してなくて...

166 166

う、ごめんなさい!!

ツレツレ...

あっ

せんせー...

あ



シルヴィー…
ごめんな

最近まったく
構ってやれてなかったな…

そんな!

お仕事ですし
仕方ありません

先生…

あ…

ん

それなのに私…

こんな自分勝手に…

いやいや
こんな我慢できない子に
してしまった自分の
せいでもあるから

キニマニヤ…

ホッ

ほら
まだキスしかしてないのに
こんなにトロトロだよ…

それとも…
俺のを舐めながら
興奮しちゃってたのかな？

芝草さん♡

アハハハ

アハ



ん…
久しぶりだからかな…
少しキツイ……

先生

は、
はやく……

はやく…
きてください……

うん、でももう少し
慣らしておいた方が…

やつ…

もう…

むりです…

早く先生と…
一緒になりたいです…

33 3.3





まだ仕事が
山積みだけど
これは当然
寝れそうにないな……



恥ずかしかったけど
たまには私の方か
寝ってみるのも
いいですね……♡





む…
なんだか股間が
気持ちいいな…



おはようございます
ご主人様

なっ!?

シルヴェイ何をなっ!?

逆奴隷

作画：扇



…悪い子だ…

ご主人様の顔を
見ていたら…
せつなくなつて…







夢精した...



名をシルヴィアという

医者である私は
ある奴隷の女の子を引き取った

シルヴィは
不能だった私を
変えてくれた

彼女の頭を撫でてみると……

な、なんだ!?
この今まで感じたことのない
股間の疼きは……!

それが私の初めてのの

勃起

でした



ああ、犯罪的に似合ってるよ
シルヴィー……



ご主人様どうでしょうか？
似合っていますか？



ご主人様!?

ウツ……!
ホッキサ……

シルヴィー…
君は他の誰にもない魅力がある



それが私の性欲を掻き立てるんだ。
それが時に暴走しそうで怖いんだ。

大丈夫ですよ。
ご主人様。

私はご主人様の奴隷です

なんなりとお申し付け下さい



ああシルヴィー…
君は奴隷じゃない…

普通の女の子だ…

私は君に
初めて会った時から



私が君の

奴隷

だっただんだ





あら……

あらあら
まあまあ

Time waits for no one...³

Teaching Feeling fanfic story
夜意漫神団 御城申座



お買いなさいまし



センセ

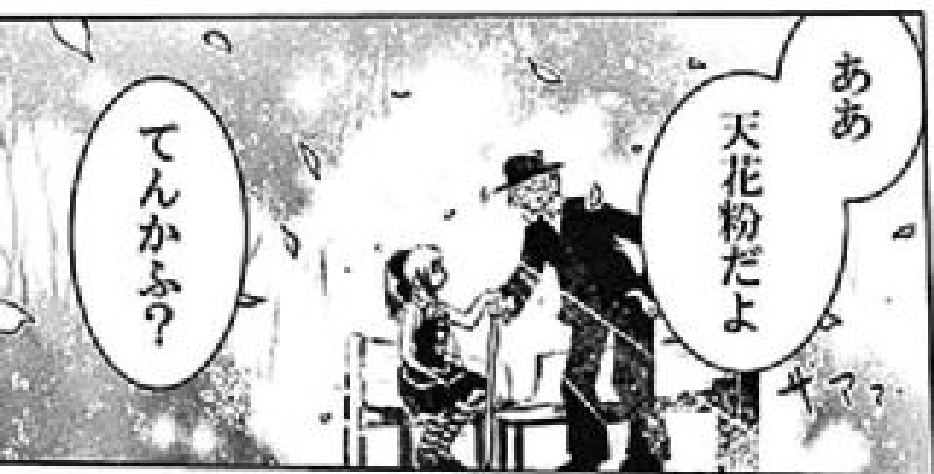
女の子の
気持ちには
大切ですよ



悪い事は
言いません



先生



ああ

天花粉だよ

てんかふう?



自分でも
作れたの
だが...

滑石と
デンプンを
混ぜたものだ



肌の擦れに
いい

使いなさい



先程は...

何をお買いに
なられたんですか



この娘と
生活をともにして
一ヶ月――

さして
ケーキを
買って帰ろう

わア
嬉しいです！

死んだ目は
潤いをたたえ
焼かれた肌は
引きつりを無くし

よき食事は
活気をあたえ
笑顔を取り戻した



そして――



夜の営みは
彼女の心を癒し

先生……
まだですか……

ああ
まだまだ

私の気持ち
満足させた——



そして
シルヴィイの全てを
知ろうとしている





シルヴィ

舐めなさい



ふっ…

はあ…

んっ…!



あ…

ありがとうございます
ございます…!



ちんぽ…

…ぶあ

先生!

もう
ダメです

よし
ちょうど湯が
沸く時間だ

場所を移そう

かっ
かっ

はっ…

かっ
かっ



はあ……



今日は
よく歩いた

キヤッ……

キヤッ……



先生……

気持ちいいですか？



おまえを
味わいたい

たまには
ゆつくり



ハイ



ああ



良い身体だ



ああ…
私の全てを
包み込む…

いって…
しまいました



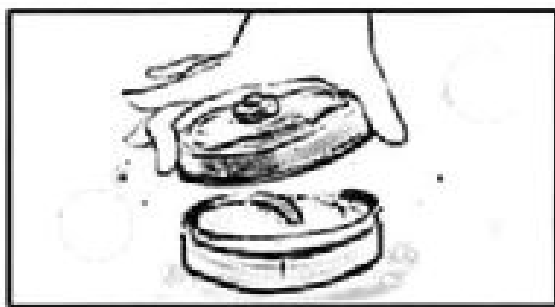
先生…
今ので少し…



うっ…

ああ…
先生…

よし…
ではこのまま
達するとしよう





知っています…

私この香り…



先生…



傷が…



お父さんも
お母さんも
知らないのに…



いや

肌色の
天花粉か…



私が赤ちゃん
の時…

だれかが
つけてくれたん
でしょうか…

ああ…



そうかもな



あらあら

まあまあ



ほらね
センス

悪いことは
言ってなかった
でしょー



歳月は待つて
くれない...

いつかの時間に
繋がるよう

時に神様は
微笑むものよ




森で水遊び




217.





私の名前はシルヴィと申します
“元” 奴隷です
今は優しい先生に拾われて、
幸せな毎日を送っています

軽い風邪ですねー
お薬を飲んでゆっくり
休んでください



先生の与えてくれた
幸せは暖かく私を
包んでくれました

美味しいご飯に
綺麗な洋服
先生とのお出かけ

勿論“夜”の
行為も……

私は間違いない
幸せものです

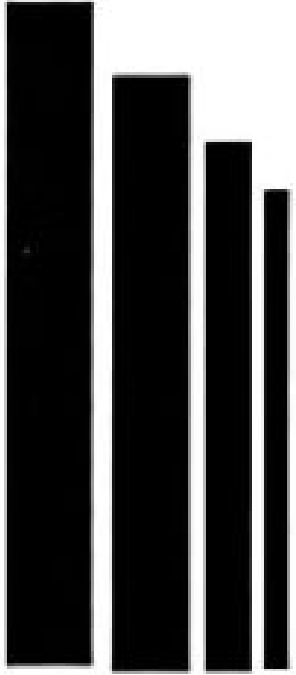


——ですがここ最近——



先生がここ最近
かまってくれない、と

あらあら



ズーン

……先生は私に
飽きてしまったの
でしょうか？

そんなことはない
と思いますが……



どー
すればー

そうですね……



でももう一週間も
えっちなことしてない
どころか、
ゲームを起動して

それ以上は
いけないわ



でしたら

いいのが
ございます

とある日の夜 ☾





先生、
また仕事れすか？

えっ

あっ……

これはその――



もう日付も
変わつれますよ
それなのに、まだ
しごとれすか？

ちよ、
シルヴィなんか
様子がおかし――

カッ



そんな……
うちにはお酒なんて
置いてな……

はっ！呉服屋さんね！！
シル――



いつもいつも
しごとしごと……
しごとよるかいですか！

うわ！
酒臭!?



ヴィ

あ ドサッ



先生は!!
私に飽きて
しまったのですか!?

外に出かけることも
全然無くなって、
夜だって最近何も
してくれません!

仕事が忙しいのは分かります
お医者様というのは大変で……

私なんて所詮
奴隷なんです!!

みんなから
頼られて……

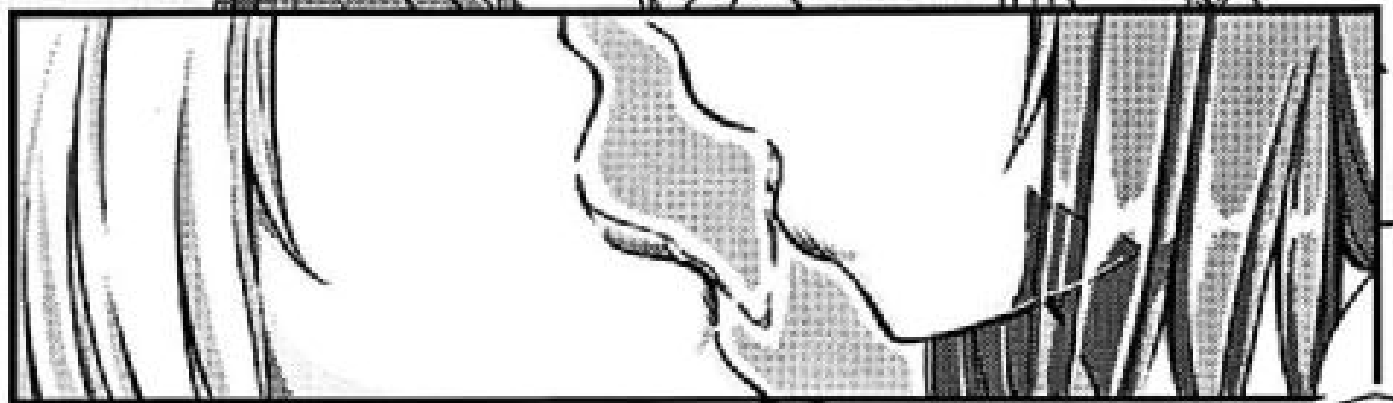
うっ
ぐす

でも……
それでも……

やっぱりこの
傷のせいで……

あう……
ぐす……

私の身体は
汚れているから……



シルヴィ
「私ちよつと勘違いを
していたみたい

……私はあなたの事を
飽きたりなんて
思っていないわ。本当よ。

ただ……最近ほ本当に
仕事忙しくって……
いえ、これはただの言い訳ね……

あなたのことは大好きよ

あなたのすべてを
愛おしいと思ってるわ

もちろん、この





— Teaching Feeling —

シルヴァー、準備はできたかしら

はいっ 大丈夫です！

ふふ元気ねー

久しぶりですからね！ お出かけ！

あつ 嫌味とかじゃ ないんです先生！

うぐっ…… ごめんね……

分かってるわ ……

……シルヴァー

はい？

シルヴァーちゃんと女先生



今日も同じ様に
絆を交え
互いの感情を
貪り合う

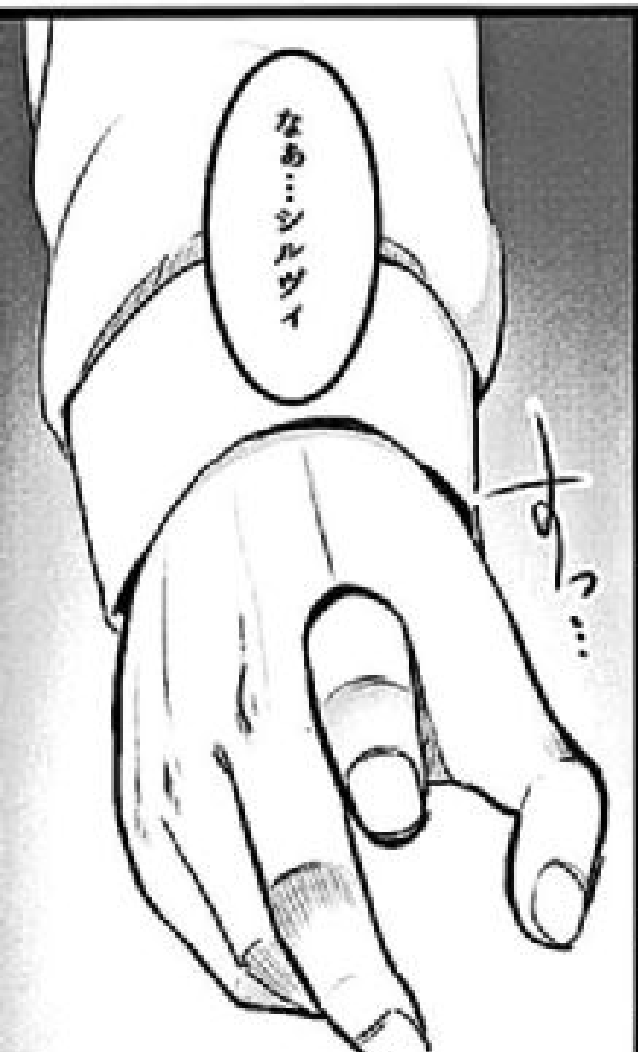
毎日：日常のように…
心の隙間を埋める為に…
セックスを繰り返す

シルヴァイ…君が
本当にして欲しい事は
私は分かっているんだ

ずっと…
愛してます…♡
ご主人様…♡

ご主人様…♡
ご主人様…♡

…♡





今日から
私の事を...

「旦那様」と
呼んでくれないか？

.....旦那様...?



.....
旦那様...?

その...でなでは
照れてしまうので
食事の後にでも
好きなだけ...



.....旦那様？



シルヴィ...
お願いがあるんだ



シルヴィー...

君の好きで

私...そんな
行き過ぎたことは...

あ...

構わないんだ

キラッ

キラッ

キラッ

キラッ



私...イジワルです
分かっていて...
そんな...

ん...



...いつも
優しいです...

旦那様



シルヴィー...キミは
本当はどう
在りたいんだい？

はあ...

私に素直に
聞かせて欲しい

はあ...

はあ...



旦那様...
朝食...少し
遅らせても
大丈夫ですか...?

私...嬉しくて...
ここが切なくて...
旦那様が...その...
イヤじゃないなら

私のこと...
抱いてくださると...
あつ...♡

ん...っ♡
旦那様...私...
幸せですっ...

今日は...激しく
乱れたい...です

めちやくちやに...
私の全部を...
旦那様に...

旦那様の
モノに...



...うあ...うあ...あ...
わたしの...おなか...

だんな...さまの
形になつてる...っ

ギュー



私...っ...私...っ...
本当に...旦那様の
モノに...なりた...

旦那様...っ...っ...
ないつか...大きく
なつたら...

おあッ



シルヴィ
私は君のこれまでの
不幸を癒やして
あげられるだろうか

でも旦那様...
新しく買った服が
たくさんあったのに...

私は旦那様の
好みの服で
いいんですよ？



はじめて買った服で
外出しないかだなんて...

なんだか
懐かしいですね
旦那様

そうだな...
シルヴィと初めて
食事をしたあの店に
また行きたくてね



君のこれからの
幸福を誓って
あげられるだろうか

いや...
シルヴィは...

この服が
一番良いんだ



さあ早く行かないと
夕方になってしまうな
少し急ごうかシルヴィ

はい
旦那様

君の生きる世界に
私が不可欠なら

その美しい
君の指に永遠
いつか誓いた

ナース服 (冷涼期仕様)

秋になって肌寒くなったので
ご主人様が長袖のナース服を
買ってくださいました。

シシツの服で
これでもうて手前...

でも...
この服を着せたまま
えっちしようとするのは
ちよっと困ります...





ハルナの
ハーブを
入れたお茶を
飲んだ日の夜は



んんん...

ご主人様が
わたしを
まもってくれた
感謝です

んん...



ご主人様...



んん...
あせらないうで...

今夜も一晩中
ご主人様の言葉を
全部を
むらやんくもにきいた
しあつた...
そう思うと...

ご主人様と
ふたりだけの
夢の時間...

じいんく
楽しかった...
もったいないと
思いませんか？



ひん

んんん...

わたしの全身が
みだらな状態で
寝たてました...



は...ひゃあぁ...♡

ご主人様に触れていただくだけで

は...ひゃあぁ...♡

あ...♡

わたしのあそびは熱くなって...

ん...♡

あ...♡

あ...♡

ん...♡

あ...♡

ん...♡

あ...♡

ん...♡

あ...♡

ご主人様に触れていただくだけで

は...ひゃあぁ...♡

あ...♡

あ...♡



シルヴィは
いやらしい
強だわ

…あ…あ…あ…
…あ…あ…あ…

ごめん…
なさい…♡

あ…



あ…あ…あ…

あ…あ…あ…



あ♡

あ♡



あ…あ…あ…♡

俺も
そんなシルヴィが
大好き
なんだけど

ごめん…
シルヴィのなかへ♡
あ…あ…あ…

うれしい♡
うれしいよ…♡



あ...あ...あ...あ...

おなか...
おなか...
おなか...
おなか...

おなか...
おなか...
おなか...
おなか...



あ...あ...あ...あ...

ご主人様の
ぬくもり...
ぬくもり...
ぬくもり...

おなかと背中
かんじます...
かんじます...
かんじます...



あああああ...
あああああ...
あああああ...

あ...
あ...
あ...
あ...

あ...あ...
あ...あ...
あ...あ...



あ……あ……♡

あからやんのおんや
いじりて……♡

ご主人様のおちんちんが
わたしのおんやが……♡

あ……あ……♡

あ……あ……♡



ご主人様……
だいじ……♡

あ……♡

あ……あ……♡

あ……あ……♡



あ……♡

あ……あ……♡

あ……あ……♡

あ……あ……♡

あ……あ……♡



アッアッアッ

アッアッ

アッアッアッ

アッアッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッ



それから...





「こんなに…」

お元気がないみたい…♡

カチカチの
熱々です…♡

シルフィの「おそろい」
うまくもれたんですね…♡

よかったです…♡

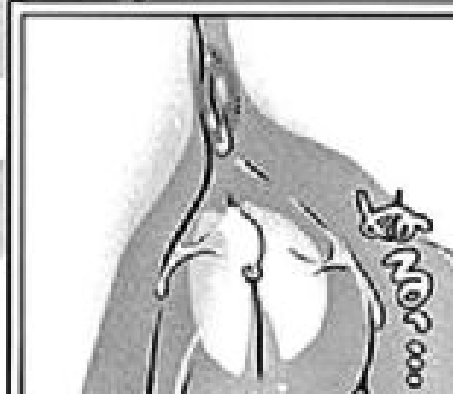
そんなに
お元気に
なりましたま…



おやすみ
なりました…

おからだに
さわります…♡

わたしを…♡
ご主人様が
ご満足するまで



お相手します♡
お好きなように
あつかっていただきます…♡

シ…シルヴァー…

ご主人様が
求めてくださった
夜は…
あそびたい♡
な〜♡

じじいの方も
ひんごも
じいさんも♡

うおおおおー！
シルヴァー！

HS-D



じいさん
ひんごさん
…♡

HS…♡

200802ND





お精進...!!

SH...ND

SH...ND

SH...ND

SH...ND

SH...ND



SH...ND

SH...ND

SH...ND

ああああああ

SH...ND

SH...ND

SH...ND



おしりが...
ご主人様を
愛しすぎて...♡

あひゅう...♡

あ...♡
お...あ...あ...♡

あひゅう...♡
あひゅう...♡
あひゅう...♡

あひゅう...♡

あひゅう...♡



今夜は...
お風呂で
いただけましな...♡

あひゅう...♡
あひゅう...♡
あひゅう...♡

あひゅう...♡
あひゅう...♡
あひゅう...♡